

国産飼料を自家配合



小林農園

Kobayashi Farm



本場広島お好み焼

ガちゃん

北海道勇払郡厚真町 平飼い卵

かごに入れずに

土の上で生活します

平飼いとはケージ(鳥かご)

飼いではなく、平らな

地面の上で放し飼いの

状態で飼育する方法です。

自由に動き回れるので

体力がつき、

病気になりにくい

健康な体に育ちます。

鶏たちは一日中地面を

かき回したり突いたりして

昆虫を探したり、

穴を掘った地面に

体を擦り付けて

砂浴びをしています。

砂浴びによって

羽毛についた汚れや

寄生虫を落とし

体を清潔に保っています。

その他にも狭いところに

隠れて卵を産んだり、

50〜60センチほどの

高さの木の上で眠ったりと、

鶏本来の行動を

制限しないことで、

できるだけストレスを

与えないようにすることで、

薬に頼らなくても

健康で丈夫な鶏に育ちます。

卵の色は食べたもので 決まります

小林農園では緑餌をたくさん

与えるので、黄身の色は「濃いオ

レンジ」ではなく「レモンイエ

ロー」です。緑餌にはキサント

フィルという黄色の色素成分が

含まれており、これが卵黄に移行

するためです。一般に流通してい

る卵と比べると色が薄く感じら

れるかもしれません。黄身の色を

濃いオレンジにしたければ、パプ

リカの粉末やマリーゴールド系

の着色料を与えればいいのです

が、これらは「着色用」として販

売されている添加物です。卵の色

調整の為に余計なものは食

べさせません。

卵は正直者

鶏が米を食

べ続けると卵

の黄身は白く

なり、黒い色

素を食べ続け

ると黒くなり

ます。小林農

園の卵も、タンポポの生える季節

には「濃いめのレモンイエロー」

になり、秋から冬にかけてかぼ

ちやを与える季節には「かぼちや

色のイエロー」になります。

海辺の農園

小林農園とは

北海道厚真町(あつまちよこと

いう人口4、500人ほどの田舎

町に小林農園はあります。

2018年の震災を機に、厚真町

の太平洋に面する地域、浜厚真(は

まあつま)に移転しました。

「平飼い飼育の健康な鶏」といっ

ても、汚い施設で生活するよりは

キレイな環境で育つ方が健康にな

れると考えます。また、新規で畜産

を営むことを受け入れてくださっ

た地域の方にも迷惑をかけないよ

うに、そして、消費者の方に「ここ

で育った鶏の卵なら安心して」と

思ってもらえるような農園づくり

を心掛けています。



小林農園の卵は、着色していないので黄身の色がレモンイエローです。